

議会のひろば

ギ カ イ

2021年(令和3年)1月25日発行

No. 22
2021 JAN.



新しい年を迎えて

平素から市議会の活動に対する温かいご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。新しい時代に対応した議会機能の発揮が求められている中、より市民の負託に応え得る議会を目指し、市民の皆様と共に市民福祉の向上及び市政の発展を全力で推進してまいります。

本年もよろしくお願いたします。

岡谷市議会議長 渡辺 太郎



令和2年12月20日(日) カノラホールで第19回カノラータ定期演奏会開催(突ゲキ生レポートより)

●もくじ

特集 ●総務委員会・社会委員会・産業建設委員会	
3常任委員会報告 [政策提言に向けたテーマは…これだ!!]	2~3
一般質問(ダイジェスト版)パート1	4~7
議員任期後半の抱負・公約実現に向けて!	8~9
一般質問(ダイジェスト版)パート2	10~13
議会報告会【市民の意見要望を議会活動に活かす】	14
写真で見る議会	14
主な議案の審議結果/議案賛否等一覧表	15
議会の「フォト広場」	16
●飛び出せ議員! 「突ゲキ生レポート」	
編集後記	16

議会のひろば 第22号

発行日:2021年(令和3年)1月25日発行 発行:岡谷市議会 編集:議会広報広聴委員会
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎0266-23-4811 議会事務局 内線:1711) URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>

「めざまし」社様提供



再生紙と植物インキを使用しています。印刷:丸印印刷株式会社

議会の フォト広場

飛び出せ議員!! 突ゲキ生レポート!

※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら取材しています。

[12月20日(日)]

カノラホールにおいて、第19回カノラータ定期演奏会が行われました。前日の19日に、団員の皆さんに、ご意見をいただきました。

- ① 議会、議員活動のどこに注目していますか?
- ② 議会、議員に望むことは何ですか?
- ③ 岡谷市の芸術文化についてどう思いますか?

[入倉 和幸(いりくら かずゆき)さん]
(5年前諏訪市から岡谷市へ転入)

- ① 活動の活発度、親近感と市民への誠実な対応姿勢に注目している。
- ② 市民の文化活動等に顔を出してほしい。公共交通の利便性向上を実現してほしい。
- ③ 市の柔軟な活動支援、多数の活動会場があり、人口規模のわりには活動環境に恵まれている。



入倉さん(トランペット)

[入倉 友紀(いりくら ゆき)さん]
(5年前諏訪市から岡谷市へ転入)

- ① コロナに苦しんでいる人をしっかり助けて欲しい。(シトラスリボンが良いと思う。)
- ② 市民が元気であるために、いろいろな活動(特に教育、福祉など)を望みます。
- ③ 少年少女合唱団など合唱のまちづくりができているので、もっと盛り上がりてほしい。



入倉さん(ホルン)

[澤野 紳二(さわの しんじ)さん]

- ① いかに市民の皆さんと行政をつないでくれるのかを気にしている。
- ② 議員の行政の監視という役割を十分発揮してほしい。
- ③ 素敵なカノラホールもあるので、ジャンルを超えて、どんどん芸術文化に携わってほしい。



澤野さん(トランペット)



表紙 カノラータ・オーケストラ

カノラータ・オーケストラは、平成13年12月にカノラホールで開催された「イルフコンサート〜歌え! 武井武雄の世界2001〜」のために一般公募により特別に編成されたオーケストラを母体とし、平成14年4月に設立されたアマチュアオーケストラです。「歌え! 武井武雄の世界2001」を終えた後、参加者からこのオーケストラを存続させたいとの声上がり、地域文化の更なる発展を目指す岡谷市及びカノラホールの協力を得て発足しました。(カノラータオーケストラホームページから <http://canorata.net/pc/>) ※**団員随時募集中!**

ご意見・ご要望
市議会だよりについて
ご意見・ご要望を
お受けしていますので
下記までお寄せください。
連絡先
岡谷市議会事務局
TEL.23-4811(内線1711)
FAX.22-6213
メール
gikai@city.okaya.lg.jp

- 議会広報広聴委員会
● 委員長 藤森 博文
● 副委員長 田村 みどり
● 委員 義信 / 早出 すみ子
● 委員 康善 / 小松 壮

編集後記
議会だよりには一般質問を掲載して7号目となります。議員一人ひとりの市政に対するそれぞれの思いが届いていければ幸いです。12月議会前、諏訪ブロック3市議会において講師を招き「質問力が高める議員力・議会力」と題した研修を行いました。「一般質問の価値は、その質問が、まちをよくするために問いただしているものであるか? 決まる。論点は、監査機能を果たすのか、政策提案機能を果たすのか。事実を固めるための情報収集の重要性。議論を通じて相互納得にたどりつけているか。更に議場で目線や姿勢、読むのではなく傍聴者視点でのライブ感が重要。」など、参考にするべき点が多々ありました。まもなく議員任期が折り返し地点となりますが、今後も信頼される議会・議員となるべく研鑽を重ねてまいります。(今井 康善)

○次号(第23号)の発行は、令和3年4月25日の予定です。

岡谷市議会 政策提言に向けたテーマは…これだ!!

総務委員会 公共施設のあり方

社会委員会 高齢者の免許証自主返納促進と対策

産業建設委員会 生産労働人口減少を見据えた、工業の持続的成長

岡谷市議会では、平成29年4月1日に岡谷市議会基本条例を施行し、「議会は、政策立案機能の強化に努め、条例の提案及び修正等により、積極的に政策立案及び政策提言を行うものとする」(第14条 政策立案機能)としています。
3常任委員会では、所管する事項の議案等の審査のほか、所管事項における調査研究を積極的に進め、政策提言に結び付けるための活動を行っています。
今回は、3常任委員会での研究の様子などをご紹介します。

総務委員会

人口減少時代、将来に向けた持続可能な施設のサービスマネジメント、運営、配置等のあり方を、現地視察等、所管する部局とのヒヤリングによる実態把握にも努め、将来に向けた公共施設の方向性について調査研究を進めてまいりました。本市は現在、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の計画的な維持管理、修繕、更新等を実施するための個別計画を策定しているところです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、地域コミュニティにも大きな影響がありました。「新たな日常」の実現に向けた環境整備が急務となっております。当委員会では、計画の資産総量の適正化に重点を置きつつも、次世代に向けた3つの基本方針を定めて、委員各位が考える幾つものアイデアを、既存の施設を



令和2年12月16日 議会報告会(川岸支所)



令和2年2月7日 公共施設について調査研究のための現地視察(塩尻市 市民交流センター えんぱーく)

イメージしながら、提言としてまとめてきました。市民サービスマネジメントと将来財政負担軽減の両立を目指し、
①人口減少や市民ニーズの変化に対応し、質とサービスマネジメントの向上のための集約化・複合化
②組織連携の強化による効率的な運営と民間ノウハウを活用した施設のにぎわい創出
③長期的な視点での市民との対話により相互理解と夢のある施設再編の実現
の3点を基本方針に定め、進めているところです。議会報告会の懇談の中では、本提案について「具体的で無くわかりにくい」「方向性は理解できる」など、賛否さまざまな意見をいただくことができました。
その他の活動としては、所管である教育に関して、岡谷スタンダードカリキュラムの一環であるプログラミング学習の授業、学校の教育環境に関する現地視察を行った他、教育委員会、スポーツ協会の方々の懇談会にて現況や課題の把握に努めました。

社会委員会

調査研究のテーマを選択するにあたり、令和元年4月当初は、高齢ドライバーの誤操作などに起因する交通事故が毎日のようにテレビや新聞を通じて報道されていた時期でありました。そこでいくつかの候補の中から「高齢者の免許証自主返納促進と対策」をテーマとし、調査研究を開始いたしました。

昨年度は、「ドライブレコーダーを活用した交通安全指導」に取り組む福井県警や、京丹後市において、住民ボランティアが運転手となり、マイカーを使用して地域住民や観光客等を運ぶという「支え合い交通の運行」の取り組みなど先進地視察を行ったほか、連壮・連婦・高齢者クラブの3団体のみなさんとも意見交換を行いました。



令和2年12月17日 議会報告会(長地支所)

今年度につきましても、多くの視察や懇談会などを計画してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、さまざまな活動が中止や延期となるなど、一定の制約を受けておりますが、「新しい生活様式」の下で、交通事業者の方や岡谷警察署担当者の方との意見交換をはじめ、近隣市町村への現地視察などを行っております。また12月には高齢者クラブ連合会の皆様との懇談会や、テーマを議題とした議会報告会において、現実的な問題点等多くのご意見をいただくことができました。

いよいよよまとめの時期となります。当初より「運転免許証自主返納促進ありき」ではなく、高齢者の事故抑止策などさまざまな角度から行った調査・研究の成果や市民の皆様から頂いた多くのご意見を的確につかみ、一定の形にまとめた上で、行政側に提言書を提出してまいりたいと考えております。

産業建設委員会

産業建設委員会では、政策提言に向けタイトルを「生産労働人口減少を見据えた、工業の持続的成長」としました。タイトルの目的と背景として、本市の現状を見ますと、働き方改革への対応や人手不足、熟練労働者の技術伝承といった従来の課題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化しても、もはや従来に戻ることはないとの見方が一般的となっている中、ポストコロナにおける「With コロナ」の「新しい生活様式」が提唱されるように、製造業における「新しい業務様式」を模索する動きが多くの企業で活発化してきており、工業立市を標榜している本市においても同様の状況となっております。中小企業の生産性向上、新規産業の育成、付加価値の向上、及び、事業承継・人材育成等の課題が山積しています。

政策提言にむけた調査・研究は、先進地の行政視察(大田区、横浜市)、担当部局との意見交換会、商工



令和2年8月18日 市内企業の現地視察(岡谷熱処理工業様)

「議会報告会」を開催しました。市民の皆様から政策提言に向けのご意見をお伺いし、市民の皆様の声も反映させた、政策提言にしていまいます。午前午後2回の意見交換では、かなり大胆な発言や、発想に接し、委員一同領くことばかりでした。今後、デジタル技術の可能性にも触れ、委員6人の総意として政策提言をとりまとめたいと思います。



令和2年12月16日 議会報告会(テクノプラザおかや)

会議所との意見交換会など、8回の懇談から、岡谷市が抱える課題を抽出しました。抽出した課題の解決を図るために、委員会として連絡調整会議を、昨年来9回開催をして、情報の共有や議論を重ねてきています。現在の状況は、大枠の方向が見えてきたところです。

令和2年
第4回定例会(12月)
議場の再現
(ダイジェスト版)

ズバリ! 市政を問う! 一般質問



Q…議員の問い A…市からの答え

※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



目次

- 一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるとして、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。
- 一般質問の順位は、定例会招集日の開会前(3月定例会は除く)に、くじで決めます。
- ※掲載は質問順です。
※掲載内容は質問者の文責によるものです。
- 《パート1》
1. 吉田 浩…4ページ
 2. 小松 壮…5ページ
 3. 今井 秀実…5ページ
 4. 浜 幸平…6ページ
 5. 笠原征三郎…6ページ
 6. 武井 友則…7ページ
 7. 今井 義信…7ページ
- 《パート2》
8. 今井 康善…10ページ
 9. 遠藤 真弓…10ページ
 10. 早出 一真…11ページ
 11. 田村みどり…11ページ
 12. 大塚 秀樹…12ページ
 13. 山崎 仁…12ページ
 14. 早出すみ子…13ページ
 15. 中島 秀明…13ページ

Q 生活困窮に係る相談件数の前年度比は?

A 前年同期と比較し増加



吉田 浩

岡谷市自殺対策の計画に「支援体制の強化に努め自殺対策との連携強化を推進する」とあるが生活困窮に係る相談件数の前年度比は?

一本化し、福祉総合相談事業として市民からの複雑化・多様化する相談に対応している。生活困窮に係る相談件数は4月から10月までで195件で前年同期比125件増。このうち新型コロナウイルス関連の相談は88件。内容は就労日数の減少、就労先休業等による休職や離職による生活困窮に関するものが多い状況だが、様々な制度を活用し、経済面や生活面の支援に努め、心の悩みや精神的な苦しさも軽減されるよう、一人ひとりに寄り添った対応を心掛ける。

Q 自殺念慮のある方の相談へはどのような対応?

A 生活困窮に係る相談が増加して

Q 小・中学校のいじめの現状について

A 岡谷市も過去最高の認知件数



小松 壮

小・中学校ともに最も多いものが「冷やかしからかいかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる」小学校では「軽くぶつかられたり、遊ぶふりを

して叩かれたり、蹴られたりする」。中学校では「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」が続いている。

Q 携帯電話を使ったいじめの内容

LINEを介して、ふざけて送った言葉が相手を傷つけてしまった、悪口を送る、グループLINEのやりとりの中でいさかきになる、ブロックされた、人を揶揄するような画像を作成し、友達内で拡散した事例が報告されている。

Q いじめ対策の取り組みと教育長の考え

A いじめをなくす取り組みは、子どもたちの人権と命を守る営みである。

Q 協会けんぽと比較して異常に高い国保税を引き下げることが課題だ。どう認識しているか?

A 国によるさらなる財政支援が必要であると考えている。
★一般会計からの繰り入れの実施で国保税引下げが実現できるよう引き続き論戦を続けていく決意を述べました。

Q 事業者に対する市の各種支援策の期限延長が必要だが?

A 資金繰りについては、新型コロナウイルス

消防団の状況

Q 消防団の加入状況と団員数は?

A 団員数の状況は、現在定員549名に対し団員総数は545名、充足率は99%である。入退団の状況は、入団者は8名、退団者は1名いた。

Q 新しい消防車両の導入による今後の消防操法大会の状況に変化

A 災害対応型多機能消防車を配備した分団はポンプ車操法の部へは出場しないため、ポンプ車操法への参加



第4分団に配備された消防車両

分団数は減ることとなるが、小型ポンプ操法への出場は出来るため現行の大会と大きく変わることはない。

Q 成人式の感染防止対策は?

A 受付時にサーモ検温やマスクの確認と手指消毒、2週間前からの健康確認を徹底。受付時間短縮や入場口を分散し動線を確保。式典も来賓の人数削減、座席の間隔を空け国歌

成人式の感染防止対策

おり、心に不安を抱える方の相談も少なくない。中には生きづらさを口にする相談もあり、慎重な対応が求められる。「まいさほ岡谷市」では特に心のケアが必要な相談者に対し、保健師を交えた面談や関係各所への同行支援、定期訪問や電話により相談者の精神面でのケアに心がけている。



昨年度の成人式の様子

等もCD演奏に変えるなど対策を徹底。記念撮影も区ことから小学校区に変更する。今後の状況も踏まえ総合的に判断する。



今井 秀実

Q 国保税引下げのための一般会計繰り入れを

A 繰り入れ実施の考えはない

所得100万円以下の方が全体の50.5%となっている。低所得者層の割合が増加する傾向であり、国保の構

緊急対策資金・借換資金ともに、受付期間を令和3年3月末まで延長し、対面での相談体制も敷いて継続的な支援に努めている。今後も、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、市内事業者のニーズも踏まえながら、柔軟に対応できるように努めていきたい。



新型コロナウイルス感染症で影響を受けている市内事業者(製造業)向け支援パンフレット

Q 新たな支援策をタイムリーに講じていくべきだ。いかがか?

A 国や県の動向、市内事業者の経営状況の把握に努めながら、適時適切に切れ目のない支援ができるよう対応し、市内経済の回復・活性化につなげていきたい。

Q 事業者アンケートや聞き取りをより丁寧に進めていくべきだ。

A 引き続き、アンテナを張り巡らせ、継続的な事業者訪問、工業活性化会議・商業活性化会議、各団体との意見交換等、さまざまな機会を通じて、業況の把握に努めていきたい。

Q コロナ禍に於ける次年度予算編成について



浜 幸平

A 状況にもよるが大変厳しい

Q 来年度予算編成の基本方針は?

A 約5億6千万円の財源不足を見込むが、新型コロナウイルスの拡大状況、経済情勢により更なる財源不足もあり得ると考えている。

Q 県下19市における財政調整基金の状況は?

A 本市の令和元年度末の残高は約14億7千万円で長野県下19市中17番目。19市の平均40億700万円を大きく下回っている状況。

Q 財政調整基金の考え方

A 基金残高について法的な規定や国からの明確な財政指標はないが、「岡谷市行財政改革プログラム」において令和5年度末残高を15億円という目標値を持っている。平成18年7月の豪雨災害において財政調整基金を約10億円取り崩しているという経験を踏まえると、減債基金を始めとするこれらの基金について、より一

層積立を進めて行く必要があると考えている。

Q 各種市税の見込みは?

A 9月末における、現年課税分と滞納繰越分の合計は65億7千万円で前年同期比9500万円の減収を見込んでいる。



前期の岡谷市行財政改革プラン表紙

Q 施設使用料収入の見込みは?

A 文化会館使用料は77.9%の減、博物館入館料は77.3%減、生涯学習館使用料は59.9%減、体育館使用料は51.3%の減となっている。5施設合計で1億8900万円の減収となっている。

Q 各種減免と支払猶予の状況については?

A 国保税を含む市税の猶予は許可件数88件、猶予額は約2500万円、また国保の減免申請は25件あり、減免額は468万4700円となっている。後期高齢者医療保険や介護保険についても、それぞれ数件の減免申請がある。

級を実践している。

Q 年未年始の岡谷市の態勢は

Q 市民が安心して新年を迎えられる岡谷市の態勢は?

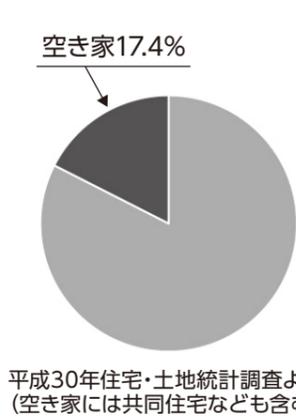
A (福祉)生活困窮に関わる緊急相談は専用電話による体制を整えている。

(産業)市内業者からの相談は速やかに柔軟に対応していく。

(病院)緊急手術などにも対応できるように、医師をはじめとした職員は、バックアップ体制を整えている。

Q 補助制度を創設すれば、跡地の活用に加え、空き家の増加を抑制することができるがどうか。

A 空き家解体後の土地利用は駐車場としてなど様々な活用が考えられる。一方、中古物件の需要も高まっていることから、空き家ストックを活用する政策を進めていく。



要介護度の認定に対する、岡谷市の現状と課題

Q 介護認定の現状と認定は?

A 客観的で公平な判定を行う一次判定、学識経験者による二次判定により認定を行っている。

Q 介護認定審査会の判定は、公平で適切なのか

A 諏訪広域連合で適切に判定がされ、定期的な研修もされている。

★要望：産業振興、介護事業への継続的な支援をお願いしたい。



消費税も10年前の5%から、現在10%に引き上げられている。

Q 高齢者が、年齢を重ねるごとの医療機関に掛かる回数?

A 75歳以上の高齢者は、74歳以下に比べ1人当たり約2.9倍医療機関に掛かっている。高齢になるにつれ医療費も増えている。

れている。

Q 老朽危険空き家解体補助金の利用実績は?

A 令和2年度10月末までで27件。今後も周知していく。

Q 老朽危険空き家に該当しない空き家に見える助成制度は?

A 売却や賃貸を検討する方には空き家バンク制度を紹介しているが、解体を後押しするような補助制度はない。

農地の現状

Q 農地転用の件数は?

A 令和元年度までの3年間で186

暮らした方、新しい人の流れなど、これまでと違った新たな動きを地方創生の契機と捉え、時期を逸することなく取り組みを進めていきたい。

Q 今後進展する市内企業のデジタル化に対する考え方は?

A 実態に即したかたちで、デジタル化等を後押ししていく。

Q 雇用対策への取組みは?

A コロナ禍による企業の採用活動方法の変化とともに、就活生の地方回帰、移住志向が強まる中、来年度は、企業と学生のマッチング強化等を図ってまいりたい。

Q 総合的な魅力あるまちづくりへの取り組みの考え方は?



今井 義信

Q 市内企業の景気動向は?

A 回復に期待感がうかがえる

Q 企業訪問での企業経営者の声は?

A 全体的には、徐々に仕事が回り回復傾向にあるとの声を聴いている。

Q 来年度の工業振興施策の進め方は?

A コロナ禍に伴う、新しい働き方や

件。9.9%

Q 市内耕作面積の推移は?

A 平成29年度から令和元年度の3年間で29.3%の減少。農地転用に伴う宅地化、高齢化による耕作休止が要因ととらえている。

Q 市内戸建て新築住宅の戸数は?

A 令和元年度が188件。令和元年度までの5年間の平均は166件。またここ10年で工場跡地や農地を活用した分譲住宅地が年平均で約40宅地増加している。

Q 農地転用による新規宅地の増加は農地の減少、空き家の増加につながる。空き家解体に広く使える

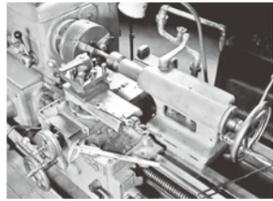
A 子育て支援地域、医療体制の充実ほか、仕事があつて「楽しいがあるまち」を発信していく。

Q 地域未来牽引企業とは何か?

A 地域全体の経済を引っ張っていくことが期待されている企業。

Q この事業に岡谷市は10社採用されているが今後への期待は?

A 様々なことに取り組んでいただき、経済全体が好循環になること。



産業を支える機械

議員任期後半の

抱負！ 公約！ 実現に向けて！

一文字で
表現
しました！

尽

藤森博文副議長
市民意見を起点に、議会が一つになった政策の立案・提言に力を尽くします。



継

山崎仁議員
心を忘れず継続して魅力あるまちにするため残りの任期を邁進する。



実

田村みどり議員
「温厚篤実」を信条として、実直に議員活動に取り組み、岡谷の明日を考えます。



恕

中島保明議員
withコロナの中、様々な変化が起こっても、この一文字の意味を忘れたくない。



表

中島秀明議員
蓄えてきた考えやアイデアをイメージから具体的な形に表していくことを目標。



時

渡辺太郎議長
ポストコロナ時代への転換期。新たな発想で希望溢れる地方創生を全力で推進。



介

吉田浩議員
心にかける。間に入る。つきそう。助ける。人の気持ちに添って耳を傾ける。



初

今井義信議員
「初心忘るべからず」の通り、支えて下さる市民に約束した公約をはたす。



共

早出すみ子議員
共に動き、共に考え、共に笑い、共に話し、共に泣き、共に生きていく。



成

武井友則議員
為せば成る…任期も半分となりました。成果を出すために、まだまだ成長！



体

笠原征三郎議員
市民の代表にふさわしく、目・耳・口・足など体をしっかりさせて頑張ります。



志

早出一真議員
まだ志半ばであり、さらに志を高く抱き、初心を貫いてまいります。



温

今井秀実議員
温かみのある市政・国政をつくりあげるため、全力を尽くして頑張ります。



果

遠藤真弓議員
取り組んできた内容がひとつでも多く果たせるようしっかり詰める。



善

今井康善議員
善は、正しい・よくなる・仲良くを意味する。善から未来を創造しています。



共

大塚秀樹議員
共に生き、共に歩み、お互いを思いやる真の共生社会を目指して。



動

小松壮議員
残り2年
思い残すことなく「動く！」



望

浜幸平議員
不安から希望へ！
コロナ収束に向けて新しい生活様式の定着が緊急課題。



Q 人口減少の実態から強化すべき政策は

A コロナ禍で新たな働き方ニーズに対応した働く場の提供が必要



今井 康善

Q 人口減少の実態は

A 令和2年10月1日における年少人口は、昨年と比較して395人の減、生産年齢は395人の減、老年人

口は28人の増で、全体で530人減。
Q 第5次岡谷市総合計画終了時の展望人口4万6千人台維持は実現にそぐわないのではないかと

A 計画期間中においても、各施策のKPIの進捗状況の検証、岡谷市基本構想審議会を通じて進捗管理及び意見など頂戴し推進している。改制の推進は、事務事業評価により必要に応じた見直しを実施していく。

Q 教育・保育の対象となる年少人口の減少率が高いが対応策は

A 婚姻数の増加に向けた婚活イベント、妊娠から出産、乳幼児期までの包括的な支援、教育環境の充実、働く

場の確保などにより子どもを産み育てる世代の定住促進が重要である。
岡谷ブランドについて

Q 岡谷ブランドが目指す方向性とプロモーション活動の状況は

A 「湖に映える美しいものづくりの



諏訪湖周サイクリングロード 開通式。新たな地域資源が生まれます。(JAZZO-MANIA)

まち」がブランドコンセプト。豊かな自然資産、ものづくり資産を活用した産業観光、シルク関連資産、武井武雄等の文化資産、食資産を活用したブランド構築を図る。積極的に情報発信し関係人口・交流人口増加へ移住・定住意欲の醸成につなげる取り組みに、注力。インスタグラムの活用、移住相談者向けパンフレットを作成中。

★要望：コロナ禍で地方への移住等の関心が高まっている今、移住希望者視点での情報発信が必要。工場だけでなく田舎ならではの多様な働き方の環境整備など、市場環境変化に対応したブランド再構築とブランド推進室を中心とした一元化した推進体制の構築を。

Q 就業規則の変更等女性の環境整備は?

A 多様性踏まえ実態にあわせる



遠藤 真弓

Q 女性雇用促進就業環境整備事業の利用が伸び悩んでいる。当事業に女性職員は関わっているか?

A 女性職員はいないが、男性職員がしっかりと啓発に努めている。

Q 社労士等、専門家への相談費用補助の増額検討が必要では?

A 企業のニーズ把握に努め今後見直しをして参りたい。

★要望：令和3年1月1日より子どもの看護休暇・介護休暇の取得が1時間単位になる。また男性の育児休業の促進も今後図られる。この機会を絶対に逃さず啓発を。育児や介護はジェンダーを問わない。制度名を含め運用の見直しを。

保育園の給食

Q 献立には、炭水化物+炭水化物(月約4回)のメニューがあるが?



ある日の給食
ちゃんぽん風ラーメン
ポテッコリー・リンゴ・パン

A 炭水化物が重なることもある。個々の児童に必要な推定エネルギーを算出しそれを基に栄養目標量を設定している。野菜を多くするなどバランスも充分考慮。

★要望：保護者が安心できるよう、その日ごとの材料名と栄養価が記され

Q 自殺者を増やさないための市の対応は?

A きめ細やかな相談や支援体制



早出 一真

Q 全国的な自殺者の状況は?

A 令和2年について、6月までは対前年同月比で減少していたが、7月以降は増加をしている。10月は対前年比で、619人増の2158人になっている。

Q 本市の自殺者の状況は?

A 平成22年以降減少傾向であり、平成30年は8人、令和元年は5人であったが、令和2年1月から10月までの暫定値は7人となっている。

Q 女性の自殺者が増加している要因は?

A コロナ禍において、経済生活問題や勤務問題、DV被害や育児の悩み、介護疲れや精神疾患などが考えられる。

Q 若年層への自殺対策は?

A 国、県ではSNSや電話での相談、本市では、心の教室相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門家と連携を

Q 期待されるUターン促進の捉え方

A 地方回帰の機運は逃がさない



田村 みどり

Q 岡谷で生まれ育ち市外に進学した子どもたちに帰ってきてもらうUターン促進はより強力的に進める必要があると思うが保護者の皆さんへの啓発活動は?

A 地元就職に関する保護者向けセミナーや子どもと共に企業研究を行う機会を設けている。

Q 就職を予定する新卒者就職活動支援「おやか就活サークル」への参加者増への取り組みは?

A 先輩社員との座談会など継続的に学生の就職活動を応援するため全3回で構成されている。各回とも学生の交通費負担軽減に配慮し帰省パスの用意がある。

★要望：ぜひ、成人式などで、市長からのお祝いの言葉の中に「岡谷市は皆さんの帰りを待っていますよ。」というようなお声掛けをしていただきたい。

図りながら、総合的な相談・支援に取り組んでいる。



厚生労働省ホームページより相談窓口

小中学校のICT教育

乳幼児期の子育て支援策

Q 「第2期子ども子育て支援事業計画」内の「地域子育て支援拠点事業」とは?

A 未就園の子どもの子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場とし



岡谷は皆さんの帰りを待っています

Q ICT教育の可能性は?

A 無限の可能性がある。

Q 教育環境の変化と情報端末の活用は?

A GIGAスクール構想により整備された、ネットワーク環境、児童・生徒に1人1台の教育用端末(タブレット)を各種授業で活用すること、情報活用能力を育成していく。

Q 学習用端末を利用するメリットは?

A 知識や技能の習得が容易となり、個別最適化した授業ができる。また、教員の負担軽減が図られ、働き方改革につながると考えられる。

Q 「おもちゃの」の相談事業とは?

A 保育士や看護師などの専門家に直接、子育てや子どもの育ちについて相談ができる。

Q 「おもちゃの」の遊具の更新などの基準は?

A 利用される保護者の意見も聞き、安全・安心な遊具の選定をして今年更新を行った。

Q 新年度予算編成に
ついては?



大塚 秀樹

A 必要のある事業を検討する

Q 新年度において見直す事務と
事業は?

A 職員一人ひとりが、例年以上に厳しい岡谷市の財政状況に危機感を感じ、歳入においては、これまで以上に特定財源の確保に努めるとともに、

高齢者への支援

Q 認知症高齢者の事故補償

A 地域包括支援センターでは、認知症が原因による近隣とのトラブルや、被害妄想による金銭トラブルなどの



紙発行の「認知症安心ガイド」

相談に対応しているが、今後ますます高齢化が進み、認知症の方も増加することが予想されているので、認知症高齢者等にやさしい地域づくりの実現に向け、行政、関係機関、事業所、地域住民など、様々な主体がそれぞれの役割を果たしながら、また連携を強化しながら、各種施策の展開に取り組む。先進自治体の状況なども聞きながら研究をしていく。

★要望：移住定住にはさまざまなきっかけがあり家族や本人の精神不安定、アレルギー反応の悪化により自然に囲まれた時間がのんびり進む土地を望み、安全面や買い物などの利便性が良い事が条件。やりすぎぐらいの移住定住活動、情報発信を。

Q 機能訓練器具の設置

A 社会補償制度におけるリハビリについては、医療保険と介護保険が担っており、保険外のリハビリを実施することは、課題も多いと認識している。

Q コロナ禍はチャンス！
企業誘致の状況は?



山崎 仁

A 本年度は3社の誘致実現

Q テレワークが普及している中、
企業誘致の状況は?

A 3社の企業誘致を実現した。日本テレワーク協会等に参加するなど、情報収集に努めている。働き方・働く

場所の多様化に対応した施策の研究を進めている。

Q 働く場所の多様化を受けたIT
企業誘致の可能性は?

A サテライトオフィス設置などの動きの明らかな増加傾向は把握していないが、諏訪圏のワーキングスペースでは近年利用者が増えており、IT関連企業に限らず個人事業主などが地方で事業を展開する動きが見られる。

Q コロナ禍における移住定住

Q 地方への移住定住が目目されているが各種移住セミナーなど、

今年度の実施状況は?

A 市への移住は4世帯で若い世代から住まいや仕事など具体的な相談が増えている。市の知名度向上へ実施するインスタグラムフォトコンテスト、交流関係人口創出へ予定していたスポーツツーリズム事業は、岡谷の魅力を発信する動画制作に変更した。

Q このような変化の中で多様な
働き方や移住の方への施策として
どのように今後考えているか?

A 岡谷市のPR動画の制作、東京と長野県の2地域居住を始めたデザイナーの協力で進める移住相談者向けのパンフレット作成などを行う。



地方への人の流れを
呼び込むために

Q 通所介護事業所
などへの影響

A 3密がさけられない介護



早出すみ子

Q コロナ禍における利用者への
影響

A デイサービス、デイケア、ショートステイの利用状況は減となったが夏以降は戻っている。

Q 介護従事者への影響

A 感染対策マニュアルに沿って細心の注意を払いながら、感染防止対策に取り組んでいる。日常生活でも感染源にならないように努めており、心身ともに負担がある。

Q 経営への影響

A 休業、廃業はない。一時的な減収はあったが9月現在では増加している。国は特例措置を設け、県は慰労金の支給、衛生用品の支援、資金融資を行っている。諏訪広域連合と連携し、支援制度の周知に努めていく。施設内感染時の対応への支援要望がある。

Q 新型コロナウイルス
感染症重点医療機関

A 通常医療との両立を目指す



中島 秀明

Q 新型コロナウイルス感染症重点
医療機関とは?

A 新型コロナウイルス感染症患者の病床の確保を目的として県の指定を受けたもので、感染症対応の病床

(空き病床含む)への病床確保料や感染症医療機器への支援がある。

Q 新型コロナウイルス感染症医療
が病院事業に与えた影響は?

A 外来受付時のトリージング用テントの設置や感染者等に対応する陰圧式エアータント、PCR検査機器や検温用サーモカメラ等のハード整備と、院内感染を防ぎながら感染症医療を行う医療体制と、それに従事する医療従事者に対するケア等のソフト対応とを組織的に取り組んできたが、病院事業には経営を含めて大きな影響がでている。

Q 新型コロナウイルス感染症医療
と地域の通常医療との両立は?

Q 季節性インフルエンザ流行期への
新しい相談・受診・検査体制は?

A 重点医療機関の指定前から二種感染症指定医療機関であり、率先して感染症医療を行なうとともに、地域医療の中核病院として幅広い医療機能の維持と、高度で総合的な医療の提供で、市民の生命と健康を守るために臨機応変に対応できる体制にしている。普段からの医療が普通に行っていることを目標に、職員一人ひとりが自らの質の向上に専念し、地域住民に良質な医療を提供できる病院づくりを進めている。

これからの季節に向けた備え

Q 季節性インフルエンザ流行期への
新しい相談・受診・検査体制は?



岡谷市民病院へ市民からの激励

Q あそびの変遷

A 社会環境の変化に伴い、屋外でのあそびが減り、一人の時間を過ごす子どもたちが増えている。

Q 外あそびの影響

A 筋肉のバランス、集中力、我慢する力、協調性、社会性などが自然に身に着けることができ、心の成長を促す良い影響がある。

Q 児童遊園の活用

A 小学生の放課後の居場所だったり、親子や子育て世帯の共有できる場である。★要望：子どもたちと高齢者が交流できる場として「ベンチ」を見直し、健康器具の設置を。



ご一緒にどうぞ

Q 市内のあそび場

A 自宅、公園、友達の家。都市公園は19か所、児童遊園は87か所ある。

★要望：事業所に関わる全員のPCR検査の実施。特例措置の撤回。

子どもものあそびの環境

問 テクノプラザおかやの他のコワーキングスペースと差別化をどのように図るか

答 テクノプラザおかや内に設置することにより、工業振興課職員が各種支援機関との橋渡し役を果たせる。また、信州大学サテライトキャンパスとも連携して、工業以外

問 産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁、並びに審査結果

※本会議の質疑の後、総務・社会・産業建設の3常任委員会に審査付託されました。

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業、都市公園樹木整備事業に必要な経費ほか、テクノプラザおかやの機能強化(コワーキングスペース)の開設。信州大学サテライトキャンパスを改めて誘致に必要な経費を計上するもので、総額 5千520万円を追加するものである。

**◆ 議案第91号
岡谷市一般会計補正予算(第18号)**
本会議での提案説明

令和2年第4回定例会が、11月30日(月)から12月14日(月)までの15日の会期で開かれ、報告案件10件、一般議案25件、議員提案が4件、合計39議案等が審議されました。

令和2年 第4回定例会

(主な議案の審議結果)

○令和2年 第4回定例会(全会一致により可決等された議案等)

議案番号	件名
報告第23号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第10号))
報告第24号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度岡谷市病院事業会計補正予算(第4号))
報告第25号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第26号	専決処分の報告について(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第11号))
報告第27号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第28号	専決処分の報告について(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第12号))
報告第29号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第30号	専決処分の報告について(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第13号))
報告第31号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)
報告第32号	専決処分の報告について(令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第14号))
議案第66号	市道路線の廃止について
議案第67号	市道路線の認定について
議案第68号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第69号	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
議案第70号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第15号)
議案第71号	令和2年度岡谷市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第72号	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第73号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第16号)
議案第74号	日本童画美術館条例の一部を改正する条例
議案第76号	岡谷市後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例
議案第77号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第78号	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例
議案第79号	岡谷市文化会館の指定管理者の指定について
議案第80号	日本童画美術館の指定管理者の指定について
議案第81号	岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定について
議案第82号	おかや総合福祉センターの指定管理者の指定について
議案第83号	岡谷市勤労青少年ホーム及び岡谷市勤労会館の指定管理者の指定について
議案第84号	岡谷市岡谷駅前広場等及び岡谷市岡谷駅前自転車駐車場の指定管理者の指定について
議案第85号	岡谷市都市公園の指定管理者の指定について
議案第86号	諏訪広域連合規約の一部変更について
議案第87号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第17号)
議案第88号	令和2年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
議案第89号	令和2年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第90号	令和2年度岡谷市病院事業会計補正予算(第5号)
議案第91号	令和2年度岡谷市一般会計補正予算(第18号)
議案第92号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

○令和2年 第4回定例会(賛否が分かれた議案等)

議案番号	件名	審議結果	渡辺太郎	藤森博文	山崎仁	田村みどり	吉田浩	中島秀明	中島保明	今井義信	早出すみ子	今井秀実	武井友則	今井康善	早出一真	小松社	大塚秀樹	笠原征三郎	遠藤真弓	浜幸平	
議案第75号	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	国土強靱化対策の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	

議長:議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対

の分野へ発展できるよう、ワンストップで相談に対応できることや駅前のため多くのビジネスマンを呼び込めることなど、他のコワーキングスペースにはない魅力やメリットがある。

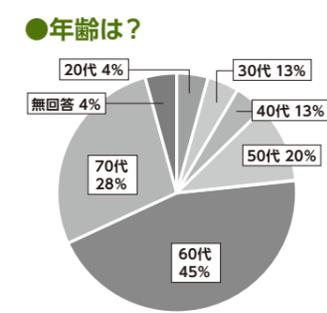
※本会議で、採決により全会一致で可決されました。

○指定管理者制度による公共施設の管理

施設名	指定管理者
岡谷市文化会館(カノラホール)	公益財団法人 おかや文化振興事業団
日本童画美術館(イルフ童画館)	公益財団法人 おかや文化振興事業団
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	株式会社 やまびこスケートの森
おかや総合福祉センター	社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会
岡谷市勤労青少年ホーム及び岡谷市勤労会館	一般財団法人 諏訪湖勤労者福祉サービスセンター
岡谷市岡谷駅前広場等及び岡谷市岡谷駅前自転車駐車場	株式会社 スカイ
岡谷市都市公園(鳥居平やまびこ公園 ほか)	公益財団法人 おかや文化振興事業団

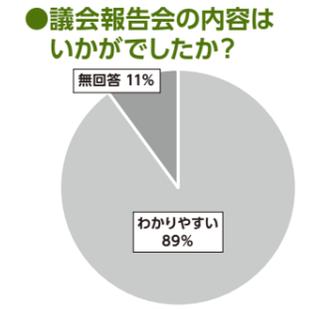
○【第4回定例会】陳情の審査結果

陳情番号	件名	担当常任委員会	社会	産業建設
31~50	土木関係要望 ・今井区・間下区・岡谷区・下浜区・小尾口区 ・上浜区・新屋敷区・小口区・小井川区・西堀区 ・小坂区・花岡区・三沢区・新倉区・駒沢区 ・鮎沢区・橋原区・東堀区・中村区・横川区			採択
51	(仮称)諏訪湖スマートIC整備に関する要望書			採択
52	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書			採択



●お住まいは?

(市内訳)	(人)
○小坂	6
○三沢	5
○花岡・小口	各4
○橋原・間下	各3
○東堀・横川・岡谷	各2
○今井・上浜・湊・中村・駒沢・中屋・新倉	各1
○市内	3
○その他(長地)	2



- 意見交換会の内容はいかがでしたか?
- いろいろな意見が聞けて良かった。
 - 具体的な提言、それに対する意見が活発に行われ有意義だった。
 - 興味深い内容だった。財力に目を向けることも大切と分かった。市の指針や動きにも合わせて考えていきたいと思った。
 - 初回だったので、また次の機会に進捗状況など分かればと思う。
 - 参加者が少なく驚いた。
 - 求めたい意見の内容に合った参加者を集める努力が必要だと思った。
 - テーマが大きすぎる。テーマの一部について意見交換すれば良いと思った。

●議会報告会(意見交換会)
●市民の意見・要望を議会活動に活かす

12月16日(水)・17日(木)に、3支所およびテクノプラザおかやにおいて、議会報告会(意見交換会)を開催しました。

今後のまちづくりの課題をテーマとして、いただいたご意見を整理し、今後の議会活動に活かしていきます!

★議会報告会の結果を今後に反映★

12月25日に、市民の皆様からのご意見やご要望の内容の共有と、今後の進め方を議員全員で協議しました。数々の貴重なご意見は、市側への「政策提言」に活かしていきたいと考えております。

また、市政に対するご意見は市側に伝え、その対応と実現に向けた検討をお願いしました。

※詳細は岡谷市ホームページでご覧いただけます。

藤森博文
広報広聴委員長報告

今井康善
総務委員長報告

小松社
社会委員長報告

今井義信
産業建設委員長報告

写真で見る議会

●令和2年12月11日...消防ポンプ車配属式

最新式の消防自動車の説明を受けた

●令和2年10月2日...長地小学校3年生の見学

将来を担う子どもたちが「議会」を見学に来てくれました

●令和2年12月22日...総務委員会で改築中の岡谷東部中学校視察

今年完成予定の岡谷東部中学校の現場を視察した

●令和2年11月9日...社会委員会で箕輪町の現地視察

コミュニティバスの状況について先進地の視察を行った

●令和2年10月13日...産業建設委員会で岡谷市金属工業会と意見交換

岡谷の異業種連携について意見を深めた